

## インドネシア

### 東部ジャワ送配電網建設事業(4)



本事業により建設されたギリチムール変電所

#### [ 借款概要 ]

承諾額/実行額	14,000百万円 / 11,570百万円
借款契約調印	1985年2月
借款契約条件	金利3.5%、返済30年(据置10年)
貸付完了	1995年1月

#### [ 事業概要 ]

スラバヤ市を中心とする東部ジャワ州において、送配電設備を拡充することにより、電化率の向上と電力供給の安定化を図るもの。

#### [ 評価結果 ]

本地域の発電・送配電網は、1970年代から円借款により整備が進められて来た。

本事業は1983年末までに完成した第1～3期計画(送電網770km等)に続き、150kV送電線(2回線68km、1回線181km)の新設、変電所9カ所(150/20kV)の建設等を行うものであり、1994年に完成した。

本事業により増設された送変電設備の能力は、同地域全体の各10.5%及び11.4%を占め、事業実施前の1982年と比較すると約3倍となった。

本地域における世帯電化率は本事業実施前の1992年から完成後の1999年にかけて約20%から50%へと増加、一方、停電の頻度及び時間指数は、同期間に概ね1/5及び1/3程度へと大きく減少しており、本事業は他の発電事業等とあいまって、電化率の向上と電力供給の安定化に寄与したものと評価される。

なお、実施機関である国営電力公社(PLN)は、近年、組織再編等の経営効率化を図っており、送変電設備の維持管理に特段の問題は見られない。